

1年生 学年だより

凡事徹底 ～当たり前のことを当たり前～

玉野市立東児中学校
第4号

入学して1か月が過ぎました。もう中学校での生活に慣れた人がほとんどではないでしょうか。この1か月、みなさんの輝く所（良い所）を多く見ることができました。

自分の仕事に責任をもって取り組める

委員会や係の仕事など、言われなくてもできています。忘れている人もいますが、友達同士で声を掛け合って取り組めています。とても素晴らしい。自分のすべきことができていないと、全体に迷惑がかかります。「自分のすべきこと」、続けていきましょう。

仲間のために行動できる

移動教室前、教科書をみんなに配っている人、終わったら回収してきれいに整頓してくれる人がいます。これだけではありませんが、誰かのために行動できる人が多く、非常に気持ちがいい。今後も「自分には何ができるか」を考え、行動に移して

ただ、中学校生活に慣れてきた、今が肝心です。少し余裕が出てきて、「これくらい・・・」と手を抜いてしまうことがあります。先を見通して余裕をもつことは大切ですが、その余裕が「手を抜く・怠る」ことにつながらないようにしましょう。みんなに迷惑がかかり、何より自分自身のためになりません。「慣れてきた」、これをクラスや自分自身の成長に繋げていきましょう。

単元テストについて

中学校では、各教科において「単元テスト」が実施されます。形としては、小学校の時と似ていると思います。単元テストや小テストなどを行う目的は、

- ① 自分がどれだけ理解（学習内容が定着）できているか
- ② 理解できていないことを、どう改善していくか

だと思います。「良い点数を取る」ことだけが目的ではありません。

目的を果たす上で大切なことは、やはり「毎日コツコツ」です。これは絶対です。人の脳は、覚えたことはすぐに忘れてしまう仕組みになっているようで、授業で学んだことは、翌日には約半分、更に翌日にはほとんど忘れてしまうそうです。何もしなければ・・・です。

では、それを防ぐためには何が必要なのでしょう？それは、「毎日復習すること」

毎日続けることで学習内容が忘れにくくなり、繰り返すことで定着していくそうです。「学習内容を定着させ、良い点数を取る」ためには、**毎日の積み重ね**が重要だということです。

「間違えた問題」＝「定着していない」ということが考えられます。間違いを間違えたままで終わらせず、原因をしっかりと分析し、次に繋げていくことが重要です。

数学では新入生テストの「リベンジテスト」を実施しました。**見直しをして、考え直して、理解を深めていく**、これがリベンジテストの目的です。多くの人がこのテストを行い、理解が深まった（点数が上がった）人が多くいました。中には、50点以上点数が上がった人も！

これから学習内容は難易度が上がってきます。課題は当然のこと、予習や復習を行うなど、家庭学習の習慣を身に付けていきましょう。この習慣に救われる日が必ずきます。

リベンジテストに向けての見直しプリントです。参考にしてみてください。

- ・間違えた原因が分析（把握）できている
- ・考え直し、解き直しができている

